

## 中外雑記

### 兵庫

#### 本寿寺では門前に焼香台

●**神戸市仏教連合会** 兵庫県南部地震から一周年目を迎えた十七日は、神戸、淡路島など被災地を中心に各所で追悼法要が行なわれた。同連合会は全日仏青と共催して超宗派で全国の仏教徒、青年僧侶らに呼びかけて「阪神・淡路大震災一周忌全国仏教徒慰霊行脚神戸結集」を行なった。市内の被災地を七コースに分かれ地震発生の午前五時四十六分からそれぞれ出発地点で回向したあと、読経行脚し、途中、被災者の求めに応じて回向しながら所定のコースをまわった

▽広瀬照晴会長は中央区の「中央コース」に参加、全国曹洞宗青年会が中心となり約百人が行脚した。神若通一ノ二ノ四の浄土真宗本願寺派西方寺（本川智暁住職）で出発式を行ない、広瀬会長、小平慈悦同総務部長、松阪隆昌中央区仏教会長らの挨拶のあとスタートした。コースは西方寺から春日野小学校前を経て坂口通、宮本通、大日通を経て脇浜町へ。春日野商店街を抜け八雲通・日暮通から常念寺（杉田峻磨住職）で回向。休憩後、旭通・中央区区役所前、小野柄通・御幸通・八幡通・神戸市役所から三宮商店街・元町を経てＪＲをくぐり抜けて山の手へ。兵庫県庁前・赤十字病院の前を通過して本寿寺（小平慈悦住職）で回向＝写真【写真は省略】、休憩した。また、小平住職の計らいで山門前に、「一月十七日午前五時四十六分より阪神淡路大震災物故者第一周忌慰霊供養のお焼香が出来るよう山門に用意致しました。ご家族、親戚、友人など亡くなられた方々をご一緒に供養し心からご冥福を祈りましょう 山主」の立て看板を立て、供養塔婆を立て、焼香台を設けて終日、被災者や遺族、一般の方々がいつでも焼香ができるように呼びかけていた。早朝から散歩の人や出勤途中のサラリーマンやＯＬらが立ち止まって焼香する光景も見られた。この後、下山手通からモダン寺の横手から浜屋まで行脚した。所用時間三時間三十分、約六キロ。この後、参加者たちは兵庫区の時宗真光寺で午前十時半から厳修された合同法要に参列した。